

「健康に過ごす夏休みに」

校長 石田 雄介

例年よりずっと早い梅雨明けで暑い日が続き、教室にエアコンがあることの有難さをあらためて実感する毎日でした。学校はこれから夏休みに入りますが、おかげさまで子どもたちは、学習や行事を通して充実した毎日を送ることができました。皆様の学校へのご協力に心より感謝申し上げます。

さて、今年の夏休みも、「**自分の4つのC**」が子どもたちの合言葉です。

「**4つのC** (チャンス・チョイス・チャレンジ・チェンジ)」

Cの1：**自分でつかむ「チャンス」** Chance

・長い夏休みは、普段できないことや、思い出づくりができるチャンスです。

Cの2：**自分で選ぶ「チョイス」** Choice

・多くのチャンスの中から、自分がやりたいことをチョイス=選んでください。

Cの3：**自分からやる「チャレンジ」** Challenge

・やると決めたことに、進んでチャレンジ=挑戦してみてください。

そして、粘り強くチャレンジしたあなたは、

Cの4：**自分を変える「チェンジ」** Change

・新しい素敵な自分へとチェンジ=変身できるはずです。

先月、SNS・ネットトラブル未然防止講座を6年生対象に実施しました。講師の大久保様は、「**自分で、使う時間と場を管理できる力**」の大切さを説かれました。6年生への事前アンケートでは、「夜遅くまでインターネットを使用している」とした子が32%でした。インターネットが子どもたちの生活にも深く浸透していることが伺えます。夏休み中のSNS・ネット利用について、ご家庭でも約束を決めて頂ければ幸いです。

時間の使い方の自由度が上がる夏休みを、子どもたちには有意義に過ごしてほしいと願っていますが、毎日ネットやゲーム三昧では、脳科学的にも大きな心配が生じます。

“有意義”とよく言いますが、夏休みでの要件は何でしょうか。

私は「**有意義の要件=リアルな充実**」であると考えます。普段なかなかできないような実際の体験や活動・遊び、探求学習などを五感を使って思い切り行うということです。

…余談ですが、私の小学校時代の夏休みと言えば、「早起きしてカブトムシを採りに行った」「友達と甲子園を見て毎日野球をした」「プールに行って、帰りにアイスを食べた」などという自分が楽しく過ごした思い出しかありません。ゲームもネットもありませんでしたが、リアルがとても充実していたことを今でもよく覚えています。

なにより子どもたちには健康な毎日を過ごしてほしいです。「**夏休みの学習や生活のめあて**」を決めて、子どもたちは夏休みを迎えました。ぜひご家庭で応援してあげてください。そしてできる範囲で、良い体験や体感ができる場の提供もお願いします。

合わせて、再拡大が心配される新型コロナ禍での適切な生活の仕方、交通ルールを守りヘルメットを着用した自転車乗りなど、「**命を守り事故を防ぐ夏休みの過ごし方**」についても、お子さんをご確認ください。

夏休み明けに、子どもたちの元気な笑顔が見られることを願っています。